



市役所が一層多様な経験が積み重なる組織になるために

小野寺貴男(蒼倫維新)

問 休職者のサポート体制は

?

答 休職者との面談を、所属長だけではなく人事担当職員や産業医が適宜実施し、休職者の状況把握やサポートを行っているほか、休職者の状況に応じて、勤務時間や業務負担などを調整する職場復帰リハビリテーションを実施し、休職者が円滑に職場復帰できるように支援を行っている。

問 退職者の中には、再び市役所で働きたいという意思がある方もいるかと思うが、市の考えは？

答 退職者が出るということは、組織にとって大きな損失であると考えている。その対応策の一環として即戦力の人材確保の観点から、本市を退職した職員を再度採用する力ムバック採用の制度を導入する予定となっている。社会的に人材確保が困難となる中、こうした取組により、実務経験豊富な人材を確保することで、行政力の強化あるいは組織力の強化に努めてまいりたい。

自転車専用道路の整備について

橋本祐一(令和研究会)



問 J R行田駅から南大通り線を経て、水城公園、市役所を経由して秩父線行田市駅までの自転車専用道路の整備をすすめてほしいがどうか。

答 自転車専用道路は車道と分離された道路であることから、自転車はもとより、歩行者や自動車の安全かつ円滑な通行が図られ、通勤、通学の方々のみならず、市外から訪れる観光客にとっても、安全な道路交通環境の向上に有効である。自転車専用道路は、自転車用の独立した道路でかつその幅員が3メートル以上を必要とすることから、J R行田駅から水城公園、市役所を経由して行田市駅の区間において、用地の確保は困難と考える。しかし、自転車通行空間の整備にはいくつかの手法があり、J R行田駅から国道17号までの県道については自転車通行帯や通行位置を示す矢羽根型路面標示が設置されていることから、連続性を確保する観点から、南大通り線についても適用が可能か調査研究をしていく。

より良い建築デザインの義務教育学校を作ろう!

野本翔平(令和研究会)



問 優れた建築デザインの義務教育学校を作ることが大切だと思うが教育長の考えは。

答 「形態は機能に従う」というルイス・サリヴァンの言葉がある。学校ということを考えて、子どもたちの笑顔が加味されて初めてデザインが完成するように思う。私はすばらしい行田市の環境を生かすため周りの土地や文化、歴史に調和し、風景と一体化し、環境に溶け込む建築が理想であると考えている。

問 その具体的な方法は。

答 誰もが利用しやすく居心地のよい魅力的な空間を整備するため、小・中学生、保護者、地域住民の皆様、教職員に、それぞれが望む機能や空間に関するアンケートを実施した。また結果を基本構想に反映するため、12月下旬から小・中学生、保護者、地域の代表者によるワークショップを開催する。

